

7.20反迫害 関西パレード

25年前の1999年7月20日、中国共産党（以下、中共）は、法輪功に対する残虐な迫害を開始した。法輪功学習者（以下、学習者）は、平和的かつ理性的に迫害に反対してきたが、その迫害は現在も続いている。

7月14日と15日、日本の学習者は大阪と京都で「7.20」反迫害パレードを行い、中共の法輪功への迫害を止めるよう呼びかけ、学習者からの強制的な生体臓器摘出を制止するよう訴えた。

議員らの支持

大阪のパレードの出発前、議員らが反迫害活動の支持を表明した。前衆議院議員の岡下昌平氏は、学習者が議員会館前で長年にわたり活動し、中国の人権侵害を伝えてきたことに感謝した。かつて岡下氏が受け取った資料には、学習者が迫害されている残酷な写真が掲載されており、その現実を理解する契機となったという。



木下吉信氏は大阪市議員であり、今回のパレードで、法輪功が迫害されている実態を人々にしっかりと伝えることができるように願った。そして、こうした活動を通じて人々の理解を深めていくことが重要と強調した。

届いたメッセージ

山田宏参議院議員からのメッセージでは、中共による学習者への弾圧は、人類史

上、類を見ない犯罪であり、文明に逆行する野蛮で非人道的な迫害行為と断言した。また、日本政府は法の支配、人権、民主主義を尊重する国として、中共に強く抗議し、迫害の即時停止を求めるべきと主張した。そして、学習者と共に中共に立ち向かい、迫害を止めるために行動していく決意を示した。

石橋林太郎衆議院議員からのメッセージは、法輪功への

25年にわたる激しい弾圧に驚きと怒りを表明した。パレードを通じて一人でも多くの人々に現状を知ってもらい、共感、連携を広げていくことを願った。

中津川ひろさと元衆議院議員からのメッセージでは、6月25日に米国で「法輪功保護法案」が可決されたことに感激していると述べ、学習者と共に戦っていく決意を示した。

神奈川県逗子市議会議員の丸山治章氏は2014年に中国の臓器狩り問題を知った。人類史上最悪のジェノサイドを続けている共産党政府は近い将来瓦解し、悪事を積み重ねた者が必ず滅びるという天の理を述べた。

大阪 法輪功にエール

オーストラリア人のココさんは「ひどい話ですね。強制的な生体臓器収奪は酷すぎます。法輪功にエールを送ります。真・善・忍の価値観は素晴らしいと思います」と語った。

京都 真・善・忍に賛成

フランス人のジョナサンさんは「中国で無実を訴える学習者に共感します。生体臓器収奪は、あってはならないと思います。また、真・善・忍の価値観に賛成です。皆がお互いに正直であるべきだと考えます。そして、善と忍はお互いを理解するために必要です。文化が異なってもです」と語った。

反迫害活動25年 米国が法輪功を支持し中共を非難

米務省は7月20日に声明を発表し、中共による弾圧の停止と、信念のために投獄されたすべての人々の解放を呼びかけた。また、米国の連邦議員20人が反迫害活動を支持し、ビデオメッセージやレターを送り、反迫害集会に参加した。

米務省「中共が法輪功を迫害」

米務省はリリースで「25年間、中共当局は法輪功の学習者とその家族を、虐待と人権侵害の標的にしてきた」と指摘。そして「米国は、宗教や信仰の自由を含む人権のた

めに声を上げ続ける。また、人権侵害の責任者を追及し続ける」と述べ、「弾圧を停止し、信念のために投獄されているすべての人々の解放を要求する」とした。

連邦下院議員 法輪功を支持

米下院で全会一致で可決された『法輪功保護法案』の提案者であるペンシルベニア州共和党のスコット・ペリー米国下院議員は、ビデオメッセージで次のように述べた。

「皆さん、こんにちは！ 本日、皆さんと一緒にできることを大変嬉しく思います。皆さんは、中共による法輪功への迫害を非難するべく集まりました。私は、皆さんと共にいます。もちろん米国も皆さんと共にい

ます。迫害を受け、長い間苦痛を味わっているすべての学習者に希望の光を届け、その希望は依然として存在するのだとお伝えしたいのです。私たちは、解決策を見つけようと努力しています。今年の『法輪功保護法』の可決は、大きな勝利でした」

「ご存知のように、私は、皆さんや皆さんの家族、迫害されている学習者と話しました。私は、自分のこととして受けとめます。私たちの友誼は、堅く深いものです。どのような状況でも、私は皆さんと共にいることをお伝えしたいのです」

連邦上院議員 中共の責任を追求

テッド・クルーズ上院議員はレターで次のように述べている。「過去20数年間、中共は学習者の人権を継続的に侵

害してきました。幾千万人もの学習者が投獄され、拷問され、命さえ奪われました。全ては、このような極悪非道な迫害を、中共政権が何の責任も負うことなく思うままにできると考えているからです。世界も沈黙を保つだろうと考えているからです。残念ながら、このような事態が頻繁に起こっています」

「中国の学習者は、過酷な迫害や命を失う危険に直面しているにもかかわらず、信念を貫いています。中共が宗教の自由を敵視するのは、それが共産主義政権の特徴だからです。そのイデオロギーに、深く組み込まれているのです」

「私たちは、中共の迫害を公に非難し、その犯罪に対する責任を追及しなければなりません。私は、中共による学習者の扱いを断固として非難します」



■反迫害活動への支持を表明する米国連邦議員

インドネシア 健康体操フェスティバルで法輪功を学ぶ

インドネシア・バタムセンター公園で6月23日、「健康体操フェスティバル2024」が開催され、ここに法輪功の学習者が招待された。

このフェスティバルはバタム市政府が主催し、青少年スポーツ局が共催する。バタムセンター公園で毎年開催され、公務員や学生、アスリート、クラブのメンバー、地域住民が様々な健康活動に参加している。

開幕式では、主催者の挨拶後に学習者が壇上に上がり、法輪功の五式の功法を披露した。



■「健康体操フェスティバル2024」で法輪功を学ぶ人々

終了後、バタム市青少年スポーツ局のズルカルニン局長は学習者に感謝のレターを送った。「バタム市を代表して、法

輪功の学習者の参加に感謝します。法輪功の功法は、私たち全員を豊かにしてくれました。法輪功は素晴らしいです」

法輪功はポジティブな影響をもたらす

午後のイベントには、数十人の州警察学校の生徒が参加し、

ステージ上の学習者が功法を披露するのを熱心に見ていた。

マーシャヒド警部は、学習者との長時間にわたる会話で「法輪功は簡単に学びやすく、年齢に関係なく誰でも学習できますね。心身を修養するのに適していて、日常生活にポジティブな影響をもたらすことができます。今日の活動を見て分かりました」と語った。

会場では、学習者が配布するチラシを受け取る人も多くいた。

イベント終了後、バタム市のジェフリディン地区書記と、バタム市青少年スポーツ局のズルカルニン局長は、学習者たちと記念写真を撮った。

米国独立記念日パレード 法輪功チームを招待

法輪功チームは7月4日、アメリカの首都ワシントンD.C.で開催された独立記念日のパレードに今年も招待された。アメリカ全土および世界中から何十万人もの観光客が訪れ、最も盛大な独立記念日の祝典となった。

法輪功チームの天国楽団が独立記念日のパレードに参加するのは、今年で17年目となる。中国由来の楽団として、唯一パレードに招待された。法輪功の学習者は主催者の要請により、「アングル・サム」のバルーン・ドールと共に参加した。「法輪功は素晴らしい」「真・善・忍」と書いたパネルを両側に飾った美しいフロート車の周りを、天女の衣装を着た女性学習者が囲んだ。

天国楽団指揮者「参加できて喜ばしい」

天国楽団の指揮者であるミシェル・ミーさんによると、天国楽団は約130人の学習者で構成され、今年のパレードでは7曲を演奏したという。



■独立記念日のパレードで行進する天国楽団

このパレードに参加できで嬉しく思うと語るミーさん。「米国の自由と寛容の精神を愛する私にとって、独立記念日は大好きな祭典の一つです。首都の広い大通りで祝うパレードに参加することは特に喜ばしいことで、苦勞を忘れてしまいます。米国で享受できる信仰の自由に感謝するために来れたことを、とても喜ばしく思います。楽団のメンバーが着ている美しい唐

時代の衣装を見た沿道の人々は、私たちを特別な楽団だと言ってくれました」

法輪功のパレードは一般とは異なる

ネブラスカから訪れたローガンさんは、「学習者のパレードを見たのは初めてです。本当にクールで、明らかに一般とは異なります」と語った。

ローガンさんは、パレードを

鮮明に覚えていた。「先頭には、青と白の衣装をまとった大規模な楽団がいて、フロート車が続き、シルクの衣装を着た婦人が日傘をさし、観客に手を振っていました。また、蓮の花の上で碧玉色のドレスを着た女性が坐禅していて、本当に素晴らしかったです」

学習者は米国で自由を享受

イギリスからの観光客マイルズさんは、天国楽団は規模が大きく、フロート車に乗っていた人たちは伝統的な衣装を身にまとって素敵だったと語った。

マイルズさんは、ロンドンのチャイナタウンで学習者に会ったことがあり、中国では中共に迫害されていることを知っていた。そして「学習者が米国の独立記念日のパレードに招待されたのは素晴らしいことで、迫害されている人々が米国に来て自由を享受し、普通の生活を送ることができるようにしてほしい」と考えている。

ホンジュラスから訪れたマリオさんは、法輪功のパレードを見て、とてもいい気持ちになり、整然とした天国楽団の姿に深い感銘を受けたという。彼は携帯電話で撮影しながらフロート車に入った。そして「彼ら（学習者）は善良な人々で、自由であり、米国で安全を感じていると思います」と語った。

韓国 書家の新しい人生

韓国・大邱市にある城山書道研究院の院長を務める65歳の書家・金煜漢さん。筆運びは、流れる水や雲のように滞りがなく、一気に仕上げます。若い頃の彼は、大いに注目を受ける科学者でした。34歳の時に直腸癌を患い、科学者としてのキャリアを断念せざるを得なくなったのです。そして死の淵で書道を選び、書家になりました。今、彼は法輪功学習者として、真新しい人生を描き出しています。

人生の羅針盤との出会い

■『轉法輪』を読む金煜漢さん



2009年のある日、金さんは高校時代の同級生から『法輪功』という本をもらいました。「同級生のおかげで、法輪功の『9日間セミナー』に参加し、師父の説法を聞いたとき、胸が熱くなりました。人生が明るくなり、ポジティブなエネルギーと感動が波のように押し寄せてくるのを感じました。ついに生涯探し求めていた疑問の答えを見つけました」

金さんはその後、法輪功の5式の功法を学びました。そして深く惹かれ、法輪功の学習を始めました。

体力が改善

金さんは、もう1人の新しい学習者と一緒に、毎朝5:30から煉功を始めました。以前より2〜3時間も早く起きるために睡眠時間は減りましたが、金さんは以前より体が軽やかになったと感じました。煉功を始めて3カ月後には肩こりがなくなり、3階の事務室まで息切れせずに上がることができました。また、書道をしていても昼寝や休憩が必要だった弱い体力も改善され、子供の頃からの口内炎もきれいに消えました。金さんは、法輪功の不思議さを感じました。

キレなくなった

心身の健康を取り戻した金さんは、性格も大きく変わり、家族にキレることもなくなりました。娘さんも「お父さんは学習して怒らなくなったね。本当に素晴らしい」と言ったそうです。

金さんは「前は、いつも自分の考えを相手に押し付けようとしていました。受け入れてもらえないと腹が立ち、よくキレていました。今は徐々に怒らなくなりました。これは法輪功を学習して、内に向けて探すことを学んだからです。怒りなくなったら、自分自身の問題を探し、その執着を手放すことにしました。怒ることは問題解決に少しも役立たないと分かったからです」と語りました。

奥さんとの衝突があると、金さんは口数を減らして我慢します。そして双方の心が落ち着いてきたら、自然と対話を通じて問題を解決できるそうです。その結果、夫婦喧嘩もほとんどなくなりました。こうして、自分たちの子供だけでなく、多くの知人も法輪功の「9日間セミナー」に参加しました。

書家としての一里塚

書家として名を知られるようになると、ある悩みを抱くようになりました。それは、いわゆる現代書道の流れに乗

るか、それとも伝統書道の道を貫くかということです。しかし、法輪功の書物を読むことで、徐々に自分の進むべき方向が見えました。現代社会では時代遅れとされる伝統的価値観の大切さにも気づき、伝統を作品に取り入れるように努力しました。

さらに、『轉法輪』という本で、「人間はなぜ、生きている間に苦痛を経験しなければならないのか」という長い間頭を悩ませてきた疑問に対する答えも見つけました。

毎日朝早くから煉功を始める金さんは、早朝に書道院に行き、生徒を指導しながら作品の制作にも励んでいます。週末には田舎に住む両親を訪ねるほか、最近では法輪功の「9日間セミナー」のボランティアとして、新しい学習者に煉功の動作を教えています。

「法輪功を学習してから心が穏やかになり、家庭も日増しに和やかになりました。私の創作活動も自然と良くなってきました」

台湾 探していた道が見つかった

「人生にはやらなければならないことがある。そして帰る道を見つけなければなりません」と謝夢瑰さんは語りました。謝さんは成功を取めた不動産会社の社長ですが、かつて困難を抱えていたとは誰も想像できないでしょう。

正しい修煉法に出会う

幼い頃の家庭環境は過酷なものでしたが、学業の成績が良かった謝さんは、台湾の国立大学に入学が認められました。人生の意味について考えていて、様々な信仰について調べましたが、最終的な答えは見つけれませんでした。

両親に家を購入してあげたかった謝さんは、卒業して不動産業界で働きました。彼女の業績は目覚ましく、台湾で業界最年少者の経営者となりました。その後、彼女は中国医学のライセンスを取得することを決意します。その時クラスメートが、法輪功の主要な書籍の『轉法輪』を紹介しました。

「2002年1月30日に『轉法輪』を読み終えました。そ

の後、法輪功の本をすべて購入しました」。謝さんは、すべての疑問に答えてくれる正しい修煉方法を見つけて、感激したそうです。

誠実と信頼で顧客を獲得

富裕層から信頼を得て、財産を任せってもらうことは簡単ではありません。それでも謝さんは、多くの富裕層から信頼を得ました。

不動産業者の中には、取引を勝ち取るために嘘をつく人もいます。しかし謝さんは、法輪功の真・善・忍の原則に従って行動し、真実を話します。

例えば、書類には契約者の署名が必要になります。ほとんどの業者は契約者に代わって文書に署名しますが、謝さんは、必ず契約者本人に署名してもらいます。

顧客の質問に対する答えが分からない場合でも、彼女はすべてを知っているふりを見せません。弁護士や会計士に相談して問題を解決するために最善を尽くします。

「師父は私たちに、人のことを第一に考えなければならぬと仰いました。私たちは誠実で、親切で、寛容であるように努めるべきです」と謝さん。顧客ニーズに応える事が最優先事項と語ります。

許すという選択

謝さんが5年の時間をかけて取り込んできた大きな契約を、信頼していた長年の同僚に横取りされました。その結果、数百万台湾ドルの損失を被りました。しかし損失よりも辛かったのは、信頼していた同僚に裏切られたことでした。弁護士にアドバイスを求めたところ、弁護士は、訴訟を起こせば勝てる可能性が高いと答えました。

しかし謝さんは「学習者の時間は貴重だと悟りました。物事は自然な成り行きに任せるべきです」と許す選択をしました。

謝さんは毎日のように、この契約に関係した建物の前を通ります。最初は、それを目にするたびに苦痛を感じました。しかし法輪功の教えを学

んだおかげで、執着を手放し、やがて何も感じなくなりました。

自分の内面を見つめる

従業員が、謝さんを誤解している時期がありました。謝さんは、他のことに追われていて、会社の会議に出席する時間がありませんでした。そのため、従業員は彼女に対して否定的な考えを持ち、職場の雰囲気は緊張したものになりました。

謝さんは、自分の内面を見つめました。すると、従業員

に対して高飛車で厳しい態度をとっていたことに気づきました。「私はまず彼らに心から謝罪し、誤解だと説明しました。また、私がどのように物事に対処しているかを知ってもらうために、彼らの活動に参加するように努めました」。自らを改めた謝さんは、対立がなくなった従業員が友好的に協力し合っていることに気づきました。

謝さんは、人生の意味と子供の頃から探していた道を見つけられたのは幸運だったと考えています。真・善・忍を日常生活の中で実践することに、喜びを感じています。



■謝夢瑰さん

専門チームの調査結果、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学

習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3カ月から2~3年という期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

多くの人が実感した不可思議な現象

一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、

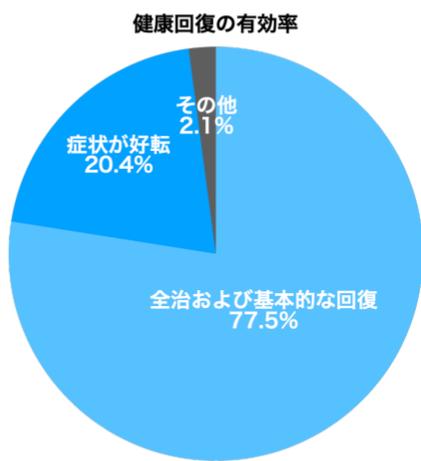
あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

三、不治の病も回復

学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

四、若返り

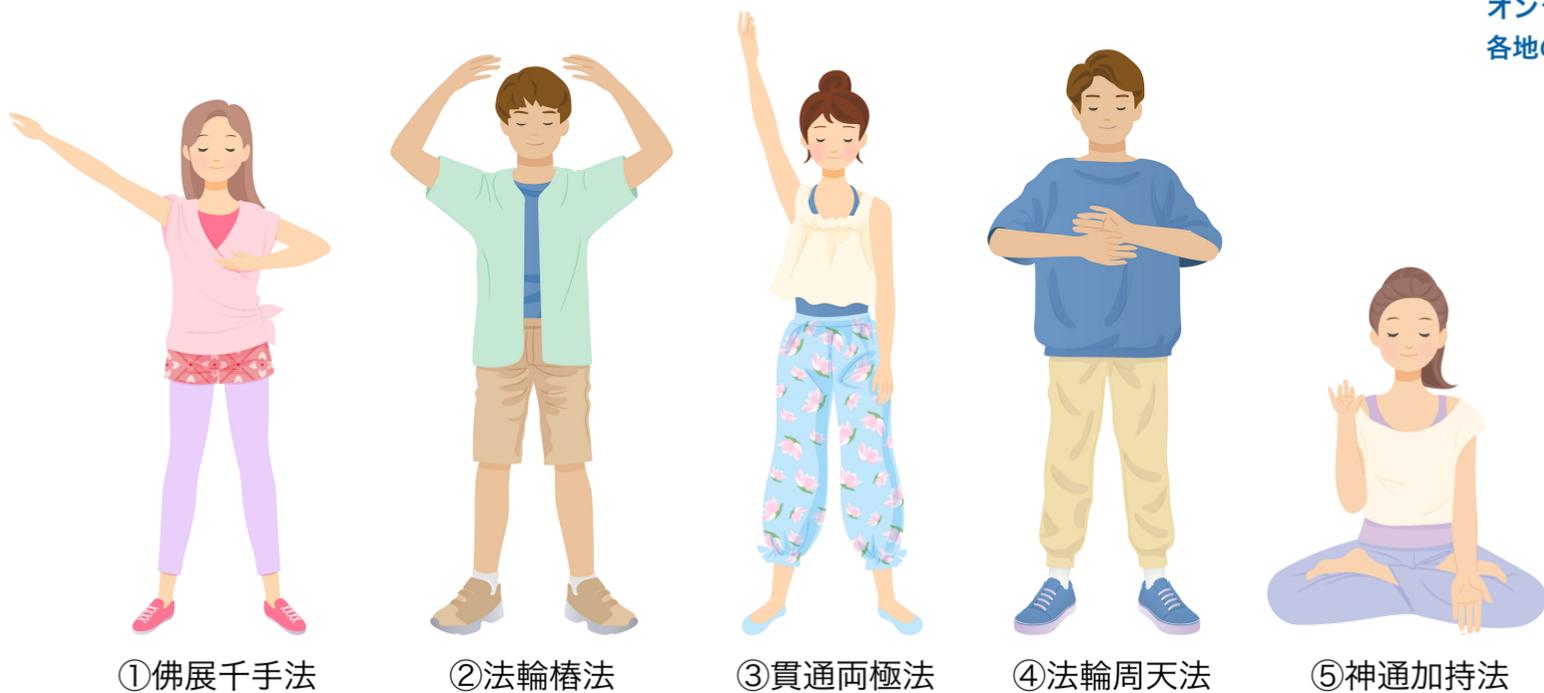
病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



心と体を鍛える法輪功 5セットのエクササイズ



オンラインレッスン
各地の無料気功教室



『法輪功』（ファールンゴン）

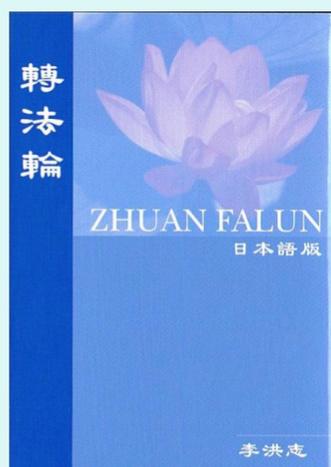
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

今年上半期、法輪功学習者447人の不当判決が判明

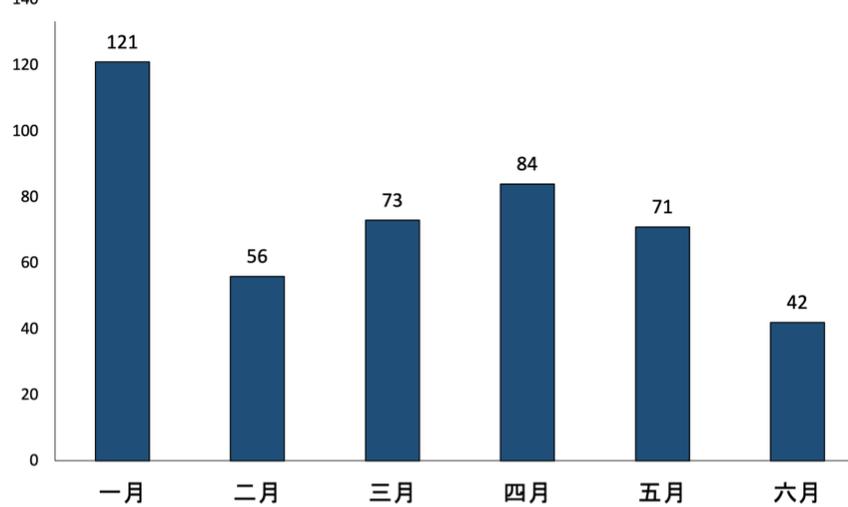
明慧ネットの報道によると、2024年上半期、少なくとも447人の学習者が不当な判決を宣告されたと判明した。不当判決は中国の27の省、自治区、直轄市に及んでいる。

迫害の最も深刻な地域は山東省78人、遼寧省65人、吉林市50人、黒竜江省35人、湖北省33人、河北省32人、四川省21人、貴州省15人、北京市14人、湖南省14人。うち60歳以上は166人で、90代1人、80代13人、70代79人、60代73人、最高齢者は94歳であった。

吉林省 焦伝富さんに懲役10年の不当判決

吉林省長春市管轄の楡樹市の学習者・焦伝富さんは2023年2月19日、長春市公安局二道支局の国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関。以下、国保）の警官により不当に連行された。そして今年5月中旬、焦さんは懲役10年の実刑判決を宣告され、刑務所に拘禁された。

2024年1～6月、法輪功学習者447人の不当判決が判明



山東省 洪梅霜さんらに懲役5年半、罰金総額21.5万元

山東省日照市の約50人の学習者が2023年5月12日と13日、現地の政法委員会と国保の指示を受けた各県・地区公安支局、派出所の警官らにより連行された。そして12月に

洪梅霜さん、郭欣さん、姜海波さんを含む21人の学習者が五蓮県裁判所で裁判にかけられた。12月25日、五蓮県裁判所は最長5年6カ月、罰金総額21.5万元（約450万円）の不当判決を宣告した。

貴州省 饒継鈺さんらに不当判決

貴州省貴陽市の学習者・饒継鈺さん（94歳女性）は法輪功を学び続け、迫害の実態を人々に伝えたとして2020年に家宅搜索され、居住監視下に置かれた。そして2022年3月に南明区検察庁に起訴され、同年12月13日、南明区裁判所に懲役

2年6カ月と1万元（約20万円）の罰金を言い渡された。

また貴陽市の80代の呉道芬さんと蔣朝林さんは、法輪功を学んでいるとして、裁判所から懲役4年6カ月の実刑判決を宣告され、貴州省女子刑務所と貴州省都匀刑務所に拘禁されたと判明した。

呉道芬さんは、これまでに中共関係者による嫌がらせを頻繁に受け、幾度となく連行された。かつて、貴州省強制労働教養所で迫害を受けたこともある。

蔣朝林さんは貴陽市白雲区にある七冶病院の元医師で、真・善・忍の信念を貫いたため、長年にわたって頻繁に嫌がらせや連行を受けていた。かつては貴州省都匀刑務所に拘禁され、拷問を受けた。蔣朝林さんは2年間の労働教養を強いられたこともあり、瀕死に至るまで拷問された後、自宅に戻された。その後、七冶病院から解雇され、生活は極度の困難に陥っていた。

11年間不当拘禁された鍾芳瓊さん 再び連行

成都市の学習者・鍾芳瓊さん（59）は、中共の裁判所から2回にわたって不当な判決を言い渡され、計11年間拘禁された。留置場と刑務所で非人道的な拷問を受け、釈放後も中共関係者から嫌がらせを受け続けている。そして今年の7月7日、鍾さんは成都市新都支局南派出所の警官により連行され、留置場に拘束された。現在、公安警察はいわゆる「証拠」を収集し、それを検察庁に渡して鍾さんに罪を着せようとしている。

難病が治った

鍾さんは元々運送業を営んでいたが、先天性血管腫を患い、95年の手術後に病状が悪化した。97年に四川医学院の30人以上の専門家から満場一致で世界の難病と診断され、有効な治療法はないと告げられた。そして97年末に重度の脳虚血の発作が現れ、長い間投薬治療が続いた。顔には、大きくて深い蝶斑もあった。しかし1999年3月に法輪功を学ぶと、奇跡が起きた。顔の斑点は1週間とたたないうち

に消え、血管腫と脳虚血は2カ月以内にすべて治った。鍾さんは、新たな人生を得た。

非人道的な拷問

1999年7月、中共による法輪功への迫害が始まった。鍾さんは法輪功を学び続けたとして、長年にわたり何度も連行・拘束され、嫌がらせを受けた。また、不当に計11年間拘禁され、留置場と刑務所で非人道的な拷問を受けた。

2007年8月～9月の間、鍾さんを含む成都市の学習者30数

人が警官に連行された。鍾さんは、武侯支局一課の警官らに交代で10日間にわたって拷問を加えられ続けた。その結果、鍾さんは大量の血を流して気絶した。2008年10月27日、鍾さんを含む9人の学習者と家族2人が武侯裁判所により実刑判決を宣告され、うち鍾さんは懲役7年の実刑判決を宣告された。

2009年3月4日、鍾さんは簡陽養馬河女子刑務所に拘禁された。そこでは、寒い冬でも真夏の炎天下でも拷問を受けた。

2016年10月26日、鍾さん和其他の学習者・湯雲霞さん、熊素英さん3人は、成華区桃溪路派出所に連行された。2018年6月6日、3人は成華区裁判所からそれぞれ懲役4年、5年、3年の実刑判決を言い渡され、3人とも5000元（約10万円）の罰金を科された。同年11月7日、鍾さんは成都女子刑務所第5区に移送された。

鍾さんは「転向（法輪功の放棄）」を拒否したため、様々な迫害を受けた。半年間は箸すら与えられず、手で食

べなければならなかった。10日間は他の受刑者に与えられる食事の量の4分の1しか与えられなかった。トイレに行く回数も厳しく制限された。最も長いときで2日間以上もトイレに行くことを許されなかった。洗面や入浴も禁止されていた。

食事は監視役が運んだが、地面に置かれ、食後に回収された。手拭きも一切与えられなかった。祝日には入浴と洗濯が1回のみできるが、洗剤や石鹸などがなかったため、きれいに洗うことができなかった。毎朝6時に起床すると、夜10時まで小さなプラスチックの椅子に真っ直ぐに座るように強制された。

釈放後、鍾さんは簡陽市雲竜鎮の弟の家に一時的に滞在した。しかし中共関係者から絶え間ない嫌がらせを受けていた。2023年4月26日、簡陽市雲竜鎮政府らの10数人が弟の家を訪れ、嫌がらせを働いた。鍾さんは迫害を避けるため、弟の家にも息子の家にも行くことができず、帰る家もない生活を送っていた。

今年7月7日、鍾さんは成都市新都支局南派出所の警官により連行され、留置場に拘束された。



■東京の中国大使館前で、叔母・鍾芳瓊さんの解放を求める張述慧さん（中央）

独の議員ら22人が法輪功を支持

ドイツでは、議員ら22人が学習者に書簡を送り、あるいは学習者の集会に参加する等して法輪功を支持した。

真・善・忍は人類の普遍的価値観

ドイツ社会民主党の国会議員で、市民参加小委員会委員長、家族・高齢者・女性・青少年委員会委員ナディーネ・ルフ氏（写真：上から2段目、左から2番目）は、以下のように述べた。

「法輪功の基本的な価値観は真・善・忍であり、これは人類の普遍的な価値観です。人類の尊厳と自由を固く信じるすべての人が支持すべきものです。長年にわたって監禁や拷問、迫害、殺害の脅迫を受けても、勇気を持ってその価値観を守ってきた学習者に深く感謝します」

「欧州議会は2024年1月18日の決議で、中国に対し、学習者やウイグル・チベット少数民族、他の団体などに対する迫害を停止し、直ちに無条件で釈放し、国内外での信教の自由に対する監視・統制・迫害を停止するよう求めました」

「EUとその加盟国は、臓器移植における中国の広範な不正を公に非難すべきです。また、中国への制裁としてビザの発給拒否や資産凍結を実施し、EUからの追放、域外管轄権と国際法に基づく刑事訴追を行うべきです」

米国下院の『法輪功保護法案』を手本にすべき

「ドイツのための選択肢」党の国会議員、人権・人道援助委員会委員長ユルゲン・ブラウン氏は（写真：上から1段目、右端）、次のように述べた。

「嬉しいことに、米国下院が最近、法輪功保護法案を可決しました。これは法輪功への迫害の停止を求め、強制臓器収奪に関与した者に入国禁止や資産凍結を含む厳しい制裁を下すことを意図しています。ドイツも手本にすべきです」

私は学習者と共にあります

ドイツCDU連邦議会議員、連邦議会CDU/CSU議員連盟法務委員会委員兼法務政策スポークスパーソンのギュンター・クリングス博士（写



■法輪功を支持した欧州議會議員、国会議員、州議會議員、市議會議員ら22人

真：上から2列目、左端）は、法輪功を支持する書簡を送った。

「私の心は、迫害されているすべての学習者と共にあり

ます。世界中の人々が、平和、正義、自由を享受できるように願っています」

「このような試練に直面した学習者の皆さんが示した勇

気と不屈の精神が、力と希望をもたらしますように。私は、皆さんの権利と自由を守るため、皆さんと共にあります」

日本の学習者が中国大使館前で迫害停止を訴える

日本各地の学習者は7月19と20日、中国大使館・領事館前で反迫害活動を行い、中共に対し、25年間続いている迫害を直ちに停止すべきだと呼びかけた。

1999年7月20日、中共は法輪功に対する迫害を開始し

た。未だに学習者は残虐な拷問、さらには強制的な生体臓器収奪など、非人道的な迫害を受けている。学習者は長年にわたり、平和的な方法で中国大使館・領事館前で迫害の制止を訴えてきた。

親族の即時釈放を

東京の学習者は7月20日に中国大使館前に集まり、平和的に抗議した。参加した学習者の張一文さんと張述慧さんの中国在住の親族は、不当に連行されている。

張一文さんは、中国大使館前で抗議文を読み上げた。張一文さんの母親は陝西省寶雞市在住の学習者である王乖彦（おうかいげん）さん。4月11日に宝鶏市第二留置場に連行された。現在、王乖彦さんは起訴されており、不当な有罪判決が下される可能性がある。しかし家族は王乖彦さんと面会できず、詳細は不明である。

張一文さんは、母親が法輪功を学習しているために迫害を受けてきたこと、そして母親が受けた迫害は、氷山の一角に過ぎないと訴えた。

東京の学習者であるグエンさんは、「2019年に法輪功の学習を始めました。以前は病気や悪い習慣を持っていました。学習を始めてから、悪い習慣をやめました。病気も治りました。今は心性も向上

し、家庭も円満になり、仕事も順調です」と語った。

各地の抗議活動

大阪の学習者は7月19日、中国領事館前に集まり、抗議活動を行った。

名古屋の学習者は、7月20日に中国領事館前に集まり「法輪功迫害を停止せよ」と書かれた横断幕を掲げた。活動に参加した阮氏恵さんは「多くの人々が中共の邪悪な本質を見抜いており、最善の方法を見つけて行動しています。今日はみな中国領事館の前に集まり、迫害の停止を訴えています」と語った。

熊本地域の学習者は、7月20日に福岡中国領事館と長崎中国領事館の前で、横断幕等を掲げ、中共による25年にわたる法輪功弾圧を非難した。



■中国領事館の前で迫害を非難する学習者

【中国の歴史・伝統文化】「無逸書齋」の一日を見てみよう

清王朝の皇子の教育制度が定められたのは、康熙時代です。それによると、皇子は6歳から塾に通って教育を受け始めます。皇子たちは毎朝5時に起きて、午後6、7時まで勉強しました。1年のうち、休みは元日とその前日の2日間だけで、しかも半日しかありません。暑くても寒くても、毎日塾に行かなければなりませんでした。

皇子の塾は、暢春園にある「無逸書齋」というところです。康熙皇帝は「身を修めるには、謹むことが大事。私は真夏にも帽子を脱ぐことはない。これは普段から自分に厳しく要求し、放縦しないからできたことだ」と述べています。

「無逸書齋」の一日

康熙皇帝は、皇子たちの学業に厳しく、史料には、康熙26年(1687年)6月10日に皇子たちが「無逸書齋」で勉強している様子が記されています。

「早朝3~5時に復習し、5~7時に先生が来る。満州語の先生はダハタといい、中国語の先生は湯斌(とうひん)

という。先生は宿題をチェックして新しい内容を教える。7~9時に康熙皇帝は塾に来て、皇子たちの暗記をチェックする。

9~11時、もう真夏に入っているが、授業中に皇子たちは扇子を持つことを許されず、上半身を真っ直ぐにして座らなければならない。書道の練習をして各文字を100回書く。

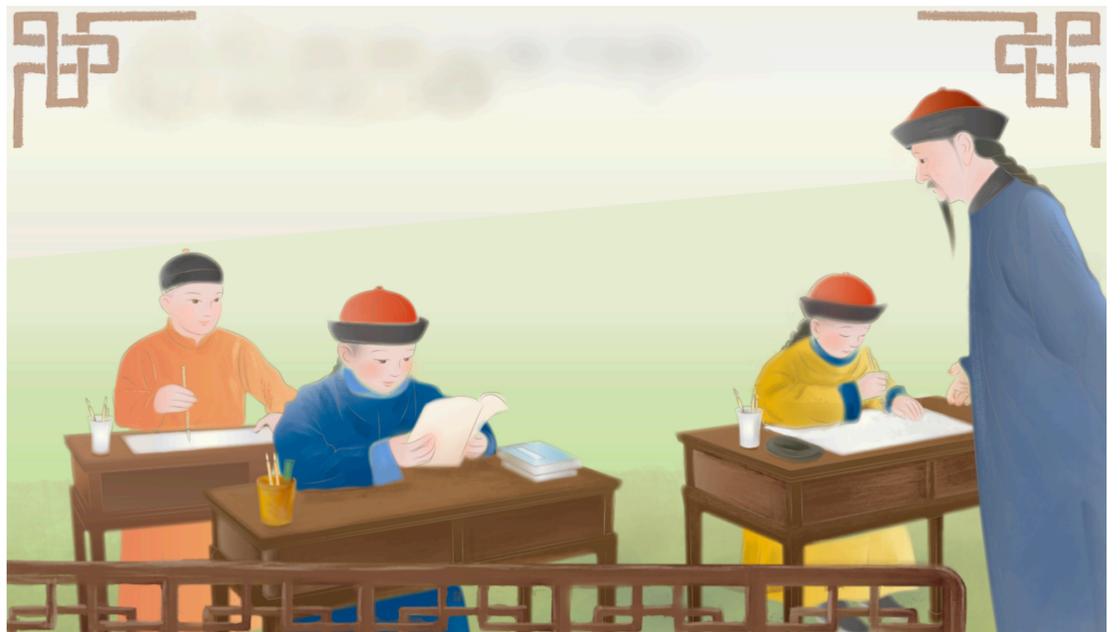
11~13時は昼食と自習。13~15時は「無逸書齋」の庭に出て体育の授業を受ける。弓、レスリング、武術を習う。

15~17時に康熙皇帝は「無逸書齋」を訪ね、皇子たちの暗記、文章理解をチェックする。

17~19時に皇子たちは弓を射る。結果を康熙皇帝がチェック。その後、皇帝は自ら射つが、毎回、的に命中。19時に一日の勉強が終わる」。これが皇子たちの一日です。

61年間怠らず

康熙皇帝の在位は、61年です。「千載一遇の皇帝」と尊称されました。康熙皇帝以



来、清の皇帝が毎日大臣に会って政事を処理することは慣例になりました。

大臣から政事を聴取する時間は春夏が午前6時、秋冬が午前7時と定められています。しかし年配の大臣にとって、夜中に起きて宮中に駆けつけるのは耐え難いことです。康熙皇帝は、制度を緩和しました。しかし、康熙皇帝自身は毎日のように政事聴取を続けていました。

緊急の上奏文があれば、康熙皇帝はいつも徹夜で確認し、指示を出しました。

康熙15年(1676年)の夏、黄河の堤防が壊れ、康熙皇帝は何度も現場を視察し、状況把握に努めました。中国史上、何度も被災地を視察して解決策を提示する皇帝は多くありません。

日ごとに進歩

康熙皇帝は『易経』を引用し「学業に精進し、怠けてはならない。日ごとに進歩するのは高貴な道徳ともいえる」と戒めています。

『康熙教子庭訓格言』には、「世の中は安逸を好み、苦勞を好まない。しかし、根

気よく働いてはじめて安逸を知ることができる。聖人は苦勞を福、安逸を禍と考える」と書かれています。

康熙皇帝は即位から死去まで、臣下の奏を聞き政事の裁可をしない日はほとんどありませんでした。晩年「在任61年、一刻の怠惰もない」と言いました。

康熙皇帝の生涯を見れば、その言葉は適切で虚言ではありません。一言一行で徳に則って身を修め、後世に手本を示した人生は、中国伝統文化における貴重な無形資産ともいえます。

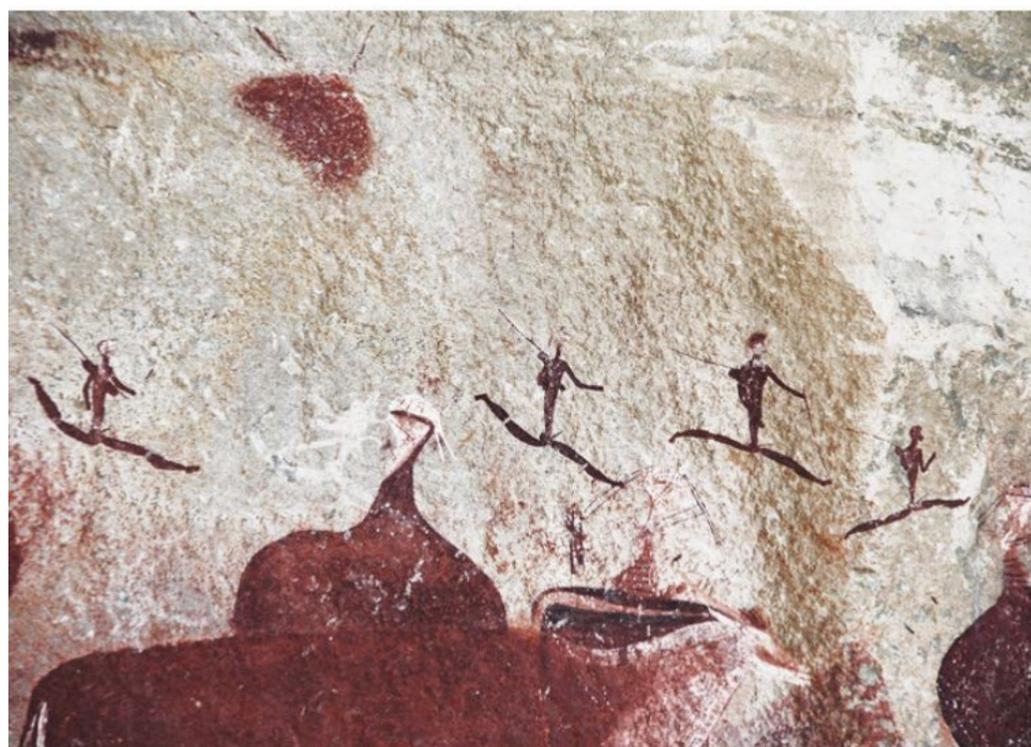
先史文明の遺跡考証

古代の壁画

ヨーロッパでは、350個以上の古代洞窟が発見されています。そこにある壁画は芸術として非常に優れた

水準にあり、半数近くがフランスにあります。また、アルプス山脈中南部の長い谷間には、数万点にも及ぶ絵画が存在しています。

フランスのラ・マルシェ洞窟で、ローブとブーツを身につけた人物の絵が155点発見されました。希少なマンガン酸化鉱物由来の顔



■南アフリカの洞窟壁画

料で描かれていました。顔料がどのように準備されたのか、まだ分かっていません。ウランの放射性崩壊測定により、洞窟の壁画は少なくとも4万年前に描かれたと判明しました。

先史時代の壁画は、世界各地に存在しています。アフリカ南部には1万4000個の先史時代の壁画が記録されています。控えめに見積もっても5万以上の遺跡があり、200万以上の人物絵画があるとも言われています。南アフリカのウカランバ・ドラケンスバーグ公園、タンザニアの岩絵遺跡群、マラウイの岩絵地域、モザンビークのマニッカ州、ナミビアのトゥウェイフルフォンテン、ジンバブエのマトボ国立公園、そしてザンビアのカサマなどがあります。

古代の原子力発電所

1972年にフランスで判明したところでは、ガボン共和国のオクロで採掘されたウランはすでに精製されたものでした。フランスの原子力委員会が調査を行

い、最終的に20億年前の大型原子炉が6基発見され、50万年稼働していたとの結論に至りました。

この古代の原子炉は、核分裂後の中性子を調整し、現代の原子炉とは比較にならない高度な技術を駆使していました。米国原子力委員会の元委員長、グレン・シーボーク博士によれば、ウランが燃え続けるには、水が非常に純粋でなければならず、100万分の数単位の汚染物質があっても、原子炉を停止させる可能性があります。このような純粋な水は自然に存在していません。50万年稼働していたガボンのオクロ原子炉がどのように純粋な水を作り出したのかが謎となりました。

古代の原子炉の構造設計の合理性は、現代の専門家にとって信じられないものでした。科学者の中には、20億年前に高度な知的生命体が存在していたことを示唆していると考えられる者もいます。

写真特集



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① 中共の迫害で死亡した学習者を悼み、ワシントンD.C.のナショナル・モールで開催された「キャンドルナイト」7月11日
- ② マンハッタンのチャイナタウンで行われた反迫害25周年記念パレード 7月20日
- ③ 反迫害25周年活動の一環でソウル広場で法輪功の功法を披露する学習者 7月16日
- ④ ロンドンのチャイナタウンでパレードを行う学習者 7月20日
- ⑤ モントリオールで行われた反迫害25周年パレード 7月13日
- ⑥ 台北市政府前で行われた7.20反迫害活動、多くの議員や弁護士が参加 7月20日

『明慧インターナショナル・30周年特別号』



PDFファイルの無料ダウンロード



法輪功が1992年に伝えだされてから、世界130カ国、1億人に愛好されている現在までの状況を紹介。

また、迫害制止を求めた勇気ある行動、世界各地からの声援などを掲載。

明慧ダイジェスト発行元

明慧（ミンフイ）ネット
<https://jp.minghui.org/>
 メール：editor@minghui.jp

明慧ネット日本語版は、2001年7月に開設しました。

法輪功について紹介、世界各国の活動、学んだ人たちの体験談などを掲載しています。

また、中国における迫害の状況を報告しています。